

(傍聴資料)

令和8年竹田市議会第1回定例会

一般質問事項

令和8年3月3日

竹田市議会

一 般 質 問 の 日 程

3月3日(火)

| 順番 | 議席 | 議員氏名 | 会派・党派 |
|----|----|------------|-------|
| 1 | 1番 | 中 村 光 三 議員 | 前進の会 |
| 2 | 5番 | 池 見 傑 議員 | 前進の会 |

令和8年第1回（3月）定例会一般質問事項

【3月3日（火）】

質問順位 1 番

議席番号 1 番 中村 光三 議員（前進の会）

| 発言事項 | 発言の要旨 | 答弁者 |
|---|--|-----|
| <p>1. 民生児童委員のなり手確保、推薦制度の課題について</p> <p>2. 竹田市における合宿誘致の推進について</p> | <p>(1) なり手確保、推薦制度について</p> <p>ア 民生委員児童委員の推薦に苦勞している地区があると聞く。推薦の遅れやなり手の確保が厳しいなどの声が地区から挙がっていないか、委員の選任の現状について伺う。</p> <p>イ 委員候補者への説明会開催や活動紹介の資料を提示するなど、事前に委員の仕事が可視化される方策をとることで、活動内容の理解が深まり、不安の軽減が図れ、なり手の確保とともに推薦人の負担軽減にもつながると考えるが、市としての見解は。</p> <p>(1) 合宿誘致の現状と課題について</p> <p>ア 合宿誘致に関する、市の取組実績は。</p> <p>イ 合宿誘致における竹田市の特色、強みは何か。</p> <p>ウ 各施設や設備、宿泊受入体制、情報発信などにおける課題をどう整理しているか。</p> <p>(2) 経済効果について</p> <p>ア これまでの合宿誘致における経済効果への評価は。</p> <p>イ 宿泊業、飲食業に限らず、地域住民や関係団体との連携による経済への波及効果をどのように広げていく考えか。</p> <p>(3) 今後の合宿誘致戦略について</p> <p>ア 学生または実業団のスポーツ、文化、芸術、教育研修など、誘致対象は様々あるが、今後、市として特に力を入れて誘致したい分野は。</p> <p>イ 魅力的な合宿環境の提供を図るため、新たに本市ならではの合宿メニューや受入体制を構築する考えはあるか。</p> | |

令和8年第1回（3月）定例会一般質問事項

【3月3日（火）】

質問順位 2 番

議席番号 5番 池見 傑 議員（前進の会）

| 発言事項 | 発言の要旨 | 答弁者 |
|--|---|-----|
| <p>1. 竹田市の観光振興の取組について</p> <p>2. 竹田市の空き家等対策について</p> | <p>(1) 観光振興について</p> <p>ア ガソリンの暫定税率廃止等の物価高騰対策による影響を受けて、春以降、国内の旅行者が増加すると予測される。観光周遊ツアー促進事業いわゆる「TAKE恋たけた」の利用の実績と効果、そして今後の事業の継続は。</p> <p>イ 訪日外国人旅行者が過去最高を記録している。現在策定中の国の第5次観光立国推進基本計画によると2026年度訪日外国人旅行者は4,500万人そして2030年には6,000万人になると考えられている。魅力ある地域観光資源をどう維持していくのか。</p> <p>ウ 観光人材の確保と育成が課題になると考えるが、市の対応策は。</p> <p>エ 民間で新たに観光に資する施設ができる予定を聞いている。地域ごとの観光資源とどう結び付けていくのか。</p> <p>オ 機構改革により今後の観光政策をどのように変化させ、プロモーション展開を行っていくのか。</p> <p>(1) 空き家対策の状況について</p> <p>ア 第1期の竹田市空家等対策計画が令和5年に終了し、令和6年度より第2期の計画がスタートしているが、第1期の総括と第2期の進捗状況は</p> <p>イ 空き家バンク、空き家再生バンクの利用状況と、増加している空き家への対応策は。</p> <p>ウ 空き家の持ち主が遠方に住んでいる場合もある。各種制度の周知方法は。</p> | |

(傍聴資料)

令和8年竹田市議会第1回定例会

一般質問事項

令和8年3月4日

竹田市議会

一 般 質 問 の 日 程

3月4日(水)

| 順番 | 議席 | 議員氏名 | 会派・党派 |
|----|-----|------------|-------|
| 1 | 4番 | 賀籠六めぐみ 議員 | 創生会 |
| 2 | 3番 | 上 島 貞 子 議員 | 日本共産党 |
| 3 | 12番 | 佐 藤 美 樹 議員 | 創生会 |
| 4 | 13番 | 山 村 英 治 議員 | 無会派 |

令和8年第1回（3月）定例会一般質問事項

【3月4日（水）】

質問順位 1 番

議席番号4番 賀籠六めぐみ 議員（創生会）

| 発言事項 | 発言の要旨 | 答弁者 |
|--|--|-----|
| <p>1. 指定管理者制度について</p> <p>2. 住み慣れた地域で最後まで穏やかに暮らす体制づくりについて</p> | <p>(1) 今現在、指定管理者制度を行っている事業について</p> <p>ア 基本協定を締結した二年目以降に、実情に応じた協定内容の見直しを行うなどして、指定管理者が意欲を持ってやれる体制づくりができていますか。</p> <p>(2) 指定管理者制度導入に至る経緯について</p> <p>ア 老朽化等により多くの維持管理費の発生が予想される施設を指定管理施設とする経緯は。</p> <p>イ 施設の老朽化や厳しい財政の中、指定管理者制度を導入するにあたり基準を定めるべきではないか。</p> <p>ウ 市の事業は、PDCAサイクルを用い事業評価している。指定管理者制度についても、事業評価し対価を変動させることで、民間事業者の意欲向上を図るPFSを採用する考えはないか。</p> <p>(1) 市民のニーズと現状について</p> <p>ア 市民のニーズ調査の中にある「人生の最後を迎えたい場所」についての結果をどのように分析するか。</p> <p>イ 要介護及び要支援認定者の今の現況と今後の推移予測は。</p> <p>(2) 市内介護保険事業所の運営状況および人材不足について</p> <p>ア 特に訪問介護（ホームヘルプサービス）は、面積の広い竹田市では、なくてはならない事業と考える。市内の訪問介護事業所の近年の状況と、多くの事業所がサービス廃止に至った経緯はどう聞いているか。</p> <p>イ 事業所の運営に様々な支障が出ている状況や、人材不足に対して、市の対策とその効果は。</p> <p>(3) くらサポ組織の活性化について</p> <p>ア 介護保険事業計画第10期（令和9年度から3カ年の計画）では、現在のくらサポの生活支援事業に加え、介護保険の身体介助以外の生活支援まで担えるよう、明確な位置づけをしたらどうか。国も各市町村で柔軟に対応すべきという方針を出している。竹田市独自の抜本的見直しを行った計画内容にすべきではないか。</p> | |

令和8年第1回（3月）定例会一般質問事項

【3月4日（水）】

質問順位 2番

議席番号3番 上島 貞子 議員（日本共産党）

| 発言事項 | 発言の要旨 | 答弁者 |
|---|--|-----|
| <p>1. 加齢性難聴者の補聴器購入支援について</p> <p>2. 小中学校の体育館へのエアコン設置について</p> | <p>(1) 加齢性難聴者のコミュニケーション支援について</p> <p>ア 加齢性難聴者の実情について伺う。</p> <p>イ 高額なため、高齢者には購入が難しいと考えられる補聴器購入について、補助制度等を検討する考えはあるか問う。</p> <p>(1) 熱中症対策としての設置について</p> <p>ア 現在の設置状況を問う。</p> <p>イ 児童生徒の利用時の熱中症対策はどのように行っているか。</p> <p>ウ 災害時には避難場所となることも念頭に、設置を進める考えはあるか問う。</p> | |

令和8年第1回（3月）定例会一般質問事項

【3月4日（水）】

質問順位 3 番

議席番号 12番 佐藤 美樹 議員（創生会）

| 発言事項 | 発言の要旨 | 答弁者 |
|---------------------------|---|-----|
| <p>1. 豊後竹田駅周辺整備事業について</p> | <p>(1) 市街地導水路再整備事業について ア 現段階での事業予定箇所と内容、事業費を聞く。</p> <p>(2) 市民及び関連事業者との合意形成について ア 他市の同事業（柳ヶ浦駅周辺整備・杵築駅周辺整備）の推進過程では、市民への説明に時間を割いている。竹田市の説明は十分と考えているか。 イ JR九州と用地や路線維持などどのような協議を行っているか。 ウ 駅構内のバリアフリー化について協議は進んだか。 エ バス事業者とどのような協議を行っているのか。 オ 市道改良工事について周辺自治会の住民に説明を行い、理解を得ているか。</p> <p>(3) 事業費について ア 総事業費約10億円の内訳と財源は。 イ 安全対策のための工事に特化し、事業費を抑える考えはないか。 ウ 財政改革として市職員の給与引き下げを実施した。他にも大型公共事業を抱える中で、本事業を今進める理由は何か。</p> <p>(4) 今後の進め方について ア 基本計画において、竹田市の歴史的景観や観光都市としての特性をどのように反映しているのか。また、現在のパース図のどの点に改善の余地があると認識しているか。 イ 福祉や観光施策、JR路線の存続、将来的な交通形態などを含め、総合的なまちづくりとしての議論が必要だと考える。市の考えを問う。 ウ 実施計画に移行する前に、市民への周知及び合意形成、庁内の政策的議論を十分に行うべきではないか。</p> | |

令和8年第1回（3月）定例会一般質問事項

【3月4日（水）】

質問順位 4 番

議席番号13番 山村 英治 議員（無会派）

| 発言事項 | 発言の要旨 | 答弁者 |
|--|--|-----|
| <p>1. 竹田市文化芸術振興計画策定事業について</p> <p>2. 大蘇ダムについて</p> | <p>(1) 振興計画策定事業に取り組む背景について</p> <p>ア 今、振興計画策定事業に取り組む必要性は何か。</p> <p>イ これから策定される振興計画は、市のどのような施策に及ぶのか。</p> <p>ウ 竹田市総合文化ホールの指定管理先である公益財団法人竹田市文化振興財団との基本協定等については、策定する振興計画の内容を反映させていくという認識でよいか。また、振興計画が未策定のこれまでは、こういった指針に基づいて事業を進めてきたのか。</p> <p>エ 竹田市歴史文化館・由学館事業の根幹はどんなものか。竹田市の歴史やその歴史に醸成された文化や芸術は、策定される振興計画の中でどのように位置付けていくのか。</p> <p>(2) 振興計画策定の方法と計画について</p> <p>ア 振興計画は、どの部局で策定していくのか。</p> <p>イ 策定のタイムスケジュールはどうか。</p> <p>ウ 竹田市文化芸術振興計画の策定にあたり、策定過程での市民や議会への説明会や意見聴取の場を用意する考えはあるか。</p> <p>(1) 用水利用の状況について</p> <p>ア 令和7年度当初から現在までの水田と畑地への用水の給水状況はどうだったか。</p> <p>イ 令和8年度の給水はどのように想定されるか。</p> <p>ウ 今後、農水省によるダム管理が行われると聞くと聞くと、用水不足解決の見通しは。</p> | |